

水田における特定外来植物「オオバナミズキンバイ」の防除技術

「オオバナミズキンバイ」に対し、除草剤の2,4-Dアミン塩は除草効果が高く、再発生や開花・結実を抑制

背景・目的

- ・本県の串良川流域で特定外来植物の「オオバナミズキンバイ」が生息域を拡大
- ・一部が水田へ侵入し、水稻の収穫作業の妨げになるなどの問題が発生
- ・除草剤についての情報が少なく、有効な除草剤を明らかにすることが必要

成果の内容

「オオバナミズキンバイ」に2,4-Dアミン塩を散布すると

- ・散布時の茎葉が枯死(地際部, 地下部を除く)
- ・地際部, 地上部からの再発生が抑制
- ・再発生した茎葉からの開花・結実を抑制

試験区名	調査日(散布後日数)	7月1日(+31)		8月12日(+73)		総合評価	処理量(10aあたり)
	生育期	開花期	再発生抑制効果	開花抑制効果			
2,4-Dアミン塩		◎	○	◎	◎	100g, 100L	
ラントアップ マックスロート [®] ・100倍		○	△	◎	○	1,000mL, 100L	
ラントアップ マックスロート [®] ・500倍		△	△	◎	△	200mL, 100L	

注)1. 東串良町内の「オオバナミズキンバイ」繁茂水田畦畔での試験結果

注)2. 試験地での「オオバナミズキンバイ」開花期は7月中旬～8月下旬

注)3. 効果及び評価は, ◎:極大, ○:大, △中

期待される効果



(写真) 左: 2,4-Dアミン塩散布前
右: 散布後(イネ科のみ残草)

○「オオバナミズキンバイ」
生息域拡大抑制および縮小

○普及対象・範囲
東串良町, 肝付町, 鹿屋市内の
「オオバナミズキンバイ」発生地域の
生産者(技術員向け)

鹿児島県農業開発総合センター
園芸作物部作物研究室

(2,4-Dアミン塩散布の注意点)

- ・水稻生育期間中は有効分けつ終止期～幼穂形成期前で散布(薬害発生の恐れがあるため, 使用時期には要注意)
- ・飼料用米, WCS圃場では登録がないため, 散布しない